

日新聞

サポート情報

◇支援の輪◇

◆県内スポーツチームが合同で街頭募金
Jリーグ2部フジアーノ岡山、天満屋女子陸上競技部、なでしこリーグ湯郷ベルなど県内のプロや実業団などのスポーツチーム7団体は22日、岡山市内4カ所で合同の街頭募金を行う。3チームのほか、Vリーグ岡山シーガルズ、シティライト岡山硬式野球部、アメリカンフットボールのセリオスタンディングベアーズ、平林金属ソフトボールクラブも参加。選手やスタッフら約80人が午後5時から1時間、北区の表町商店街やJR岡山駅東口などで街頭に立つ。義援金は日本赤十字社を通じて被災者救援や復興支援に役立てる。

◆浅口市議報酬15%を支援に

浅口市議会は議員報酬を今年7月～来年3月まで月額15%削減し、今年4～6月の報酬は月額の15%を被災者支援に回すことを決めた。支援額は3カ月で約320万円。また、同市は震災見舞金600万円を繰越金から支出する。

◇募金窓口◇

◆日本赤十字社県支部

郵便振替(口座番号00140-8-507、口座名「日本赤十字社 東北関東大震災義援金」)
銀行振込(中国銀行本店・普通口座761168、トマト銀行本店・普通口座1430925、名義は日本赤十字社岡山県支部。通信欄に「東北関東大震災義援金」と記入)

◆公設国際貢献中学校

郵便振替(口座番号01390-4-93879、口座名「ももたろう国際救援隊」、通信欄に「東北地方太平洋地震」と記入)

◆AMDA

郵便振替(口座番号01250-2-40709、口座名「特定非営利活動法人アムダ」、通信欄に「131」か「東日本大震災」と記入)

◇救援物資窓口◇

◆岡山ドーム(北区北長瀬表町1)、岡山ふれあいセンター(中区桑野)、百花プラザ(東区西大寺南1)、西ふれあいセンター(南区妹尾)

離乳食、粉ミルク、カセットコンロ・ボンベ、乾電池(単3と単4)、水やお茶の500mlペットボトル、カップ麺など。新品か未使用に限る。27日まで午前9時半～午後4時半。岡山市福祉援護課(086・803・1218)。

岩手県の釜石市中大体育館で診療に当たるAMDAの医師(AMDA提供)



課題は「命、生活、絆」

AMDA代表 被災地の現状語る

東日本大震災

「地震と津波は何もかも違う。思い出したくないほどの惨状だった。東日本大震災の被災地から一時、岡山に帰った国際医療救援団体「AMDA」(本部・北区)の菅波代表(64)は21日、会見で被災地の現状を語った。移動手段の確保が難しく、寒さや食糧事情も厳しい。AMDAは95年の阪神大震災でも緊急救援を行っているが、菅波代表は津波被害の甚大さを語った。

AMDAは同日まで計52人の医師や看護師らを岩手県や宮城県に派遣し、被災地に別養護老人ホームで活動したが、今後は重点を介護に移していくと

を介護に移していくと

菅波代表によると、避難所では子供にインフルエンザなどの感染症が広がり、慢性疾患がある高齢者は普段服用している薬が手に入らず、対応が課題となっているという。被災地で育ったが現在は別の地域で暮らす医師や看護師を積極的に現地に派遣した。「早く家族や知り合いの安否を知りたい、古里の役に立ちたいという人が集まったが、有益な情報が入る。次からは被災地出身のスタッフを派遣したい」と話した。

菅波代表は現在の課題について命、生活、人間の絆をどう考えるかだと語り、「被災地以外の人が無関心になるのは良くない。高校生は高校生に、高校生は高校生に向けて発信するなど同じ世代の交わりの方を考えた」と話した。

【椋田佳代】